



宇美町立相撲場再建事業の経過

【昭和58年】

相撲場上屋建築

【令和3年12月】

上屋倒壊の恐れがあるため解体および白蟻防除
(屋形柱部分と白蟻の巣になっていた桜の木)を実施

【令和4年度】

設計書を作成

【令和5年5月】

5月22日 着工

【令和5年6月】

- ・ガバメントクラウドファンディング(総額 1,311,000円)
(実施期間)令和5年6月3日～8月31日(90日間)
- ・協賛金(総額 7,640,000円)
(実施期間)令和5年6月1日～8月31日(92日間)

【令和5年10月】

10月5日 竣工



奉納相撲大会主催 宇美町青年団メッセージ

先日、宇美八幡宮仲秋祭放生会にて奉納相撲大会を開催しました。

多くの方々からの温かいご支援により再建された新しい土俵での初の奉納相撲大会は、コロナ禍を乗り越え4年ぶりの開催でした。

今年は町内外問わず多くの選手の皆様にお越しいただき、奉納相撲大会を大いに盛り上げることが出来て、心から嬉しく思っています。

この奉納相撲大会を通して、相撲という文化が私たち宇美町青年団だけでなく、地域の子どもたち・そして相撲未経験者の方々にも広がってほしいと思っています。

そして、ここ宇美町から多くの皆様に相撲の楽しさと古くから受け継がれてきた歴史・伝統を伝えていく事が出来れば幸いです。



▲詳細はこちら

問 社会教育課
スポーツ・文化振興係
☎933-2600
FAX933-2741



新相撲場、堂々完成

「たくさんの人の思いをのせて」



白蟻被害発覚から2年。宇美町立相撲場が完成しました。

再建事業にあたっては、当町で初めてのクラウドファンディングに挑戦し、同時に協賛金も募集したところ、町内外を問わず、多くの人にご協力いただきました。ありがとうございました。

▼10月15日「奉納相撲大会」

毎年宇美八幡宮仲秋祭(放生会)に合わせて行われる奉納相撲。4年ぶりの開催となった今回は、総勢31人の選手が参加し、各々が素晴らしい取組を見せました。各選手が階級関係なく優勝をめざす「個人戦」、6チーム総当たりで優勝をめざす「団体戦」、子どもの健やかな成長を願う「赤ちゃん土俵入り」、五穀豊穡を願う宇美町青年団による「花相撲」などが行われました。

▼10月29日「糟屋郡少年相撲大会」

糟屋郡の各町の子ども相撲の選手が集まり、町の名前を背負って競技に臨みました。各選手が日頃の稽古の成果を発揮する中、観客席からは、大きな歓声が上がっていました。

